

僕は物心がついた頃から好きな女性がいた

その人は僕の友達のお母さんの田辺麻衣さん

昔から近所付き合いもあり
実の母親のように親しくしてもらった大人の女性

早くに旦那を亡くして女手ひとつで
仕事も家庭も支えている素敵な女性だ

勇気のない僕の初恋はずっと
胸にしまっていたのだひびき…

とんたんと音が響いてきた



ビックリした!?
急にそんな大声で

麻衣さん!
健吾から聞きました!!
あの話って本当なんですか?



ふふッ：健吾から聞いた話は本当よ♪
おばさん再婚するの

麻衣さん答えてください
本当なんですか？





春樹も歓迎してくれるよね！
お婆さんの事

そっ…そんな…





えっと…そうだったの？
ありがとうね。
お婆さんの事そう思ってくれていて

僕は麻衣さんが好きなのに…
ずっと前から大好きだったのに！



麻衣さん：僕と付き合ってください！
僕の方が麻衣さんを想う
気持ちでは負けてませんから！

何言ってるの…
もうおばさんそんな冗談言われたら
間に受けるじゃない

そういう事はもっと若くて
素敵な子に言いなさい



うん…

冗談なんて言ってませんよ
麻衣さんより魅力的な女性はいません！



はあ…
もうわかったわよ

本当ですか麻衣さん!?

だから僕とずっと一緒にいてください



一日?

一日だけ



そう、一日だけ恋人になってあげるから
だからそれ以上は譲歩しない！
わかった？

うッ…

じゃそういう事だから

僕は麻衣さんが再婚する話を聞いて
思わず想いが込み上げて暴走してしまった

だけどその代わり恋人関係に
なってくれると約束してくれた。

一日だけだけど僕は後悔したくない

そして次の目...

今日は健吾も帰宅するの遅いから…
今なら私達二人つきりだからね
その間だけ恋人同士でいてあげる

わかったよ麻衣さん…ごくっ

僕はそのまま麻衣さんの部屋に誘われ

恋人同士じゃないと絶対見られない
肌を露わにして

その豊かな身体を見て
何とか理性を保ちながらも
僕は柔らかい肌に手を伸ばすした…



じゃ…はい…
いつでもいいからきなさい

(もう本当困った子ね…
どうせすぐに飽きるだろうけど…)

麻衣さん…

(麻衣さんの生おっぱい…
服の上からも
わかったてたけどデカイ…)



僕…僕もう

こら！
そんな乱暴にしない
もっと優しくしなさい



ごめんなさい…
でも夢みたいだ。
麻衣さんのおっぱいに触れるなんて

(柔らかい…
こんな大きいのに弾力があって
ふかふかで気持ち良い…)



もう小さい頃
よく触れてたじゃないの…

(こんなに夢中になって触って…
春樹も年頃の男の子だから
仕方ないかあ…)



(一時的な思い込み
みたいなものだから、
今日の事で落ち着いてくれるでしょう)

(男の子が大人の女性の体に
興味を持つのはよくある事...)



ここって…
下の方ですか？

ほら…胸ばかり触らずに
今度はここにもしてあげて

そうよ…
デリケートな部分だから
優しくしなさいね





あゝ

んんッ♡
そんな所に顔を近づけて…
んッ♡

ちゅぽっ…ごめんなさい…
でもどうしても近くで見たくて…
くちゅ

(夫が亡くなってからもう数年以上
こんな事してなかったから…)

(うっ…久しぶりだから
恥ずかしい…)

ちゅぽっ
ちゅぽっ

んん







ムムムム!!

(こんなの夫と比べて全然違うじゃない)

(えっ!?...デカイ...
男の人のモノって
こんなに大きかった?)

むん♡♡♡

ゴムの事だよね
つけてみたけどどうかかな?



麻衣さんいくよ…

ちよ…ちよっと待って…
まだ心の準備が

ちゅ♡ちゅ♡

ちゅ♡ちゅ♡



あッ♥♥…ああッ♥♥…
イツ…イクッ…イツ…

(嘘…イツてる…挿入ただけで
こんなに刺激が昇ってきて…)

あッ♥♥…ああッ♥♥…
イツ…イクッ…イツ…

あッ♥♥…ああッ♥♥…
イツ…イクッ…イツ…

あッ♥♥…ああッ♥♥…
イツ…イクッ…イツ…

あッ♥♥…ああッ♥♥…
イツ…イクッ…イツ…



ハアハア…
麻衣さん…気持ち良いです

麻衣さんの膣内温かくて…
僕のチンコが握られるように
絞めつけられて良い…

あんツ♥…あんツ♥
イヤツ…あんツ♥…

(ダメツ…イッてるのに…
そんな動かないで…)

(私イッてるから…
子宮まで届いて擦れてるから…)

んっ
んっ

に
ちゅ
ちゅ
♡
♡
♡

あ
ん



気持ち良いです…
麻衣さんのおまんこの中…

ヒクヒクして搾られるように
僕のチンコに刺激がきて…

ズルズル
チユウ

ズググ
チユウ

あ
ん

あんツ♥…あんツ♥…
ちよっともう少しゆっくりして…
じゃないと私…

(むりッ…痙攣して…イカされて
私の膣内がうごめいて
快感が込み上げてくる…)



すみません…
ゆっくりなんてできないです…
気持ち良すぎて我慢できません…

あんツ♥…あんツ♥…
ダメツ…ダメだから…
あんツ♥…

んんん♥

ズル
ズル
ズル
ズル
ズル
ズル

グ
グ
グ
グ
グ
グ

あ
ん

(子宮が押しつぶされちゃう…)

(イッてる最中なのに
そんな所に刺激されたら…)



僕初めてで…もうすぐイキそうです…
もっとしていたいの…
気持ち良すぎてもう出そうです…

あんツ♥♥…
あんツ♥♥…

ズル
ズル
ヂュ
ヂュ

グ
グ
グ
グ

あ
ん

(イクツ…イクツ…
イッてるのにまたイクツ…)

(気持ち良いのが
押し寄せてくるツ…)

ん



麻衣さん…麻衣さんイクッ…
イキます

あんツ♡…あんツ♡…
私も…私もイクツ…イクツツツ

あ♡
♡







あんツ♥…
春樹のおちんちん大きすぎ♥…
おばさん壊れるでしょう…もう

大きいって
本当ですか？

はあッ

はあッ♡

ぬほ♡♡

はあ♡

はあッ

(僕って大きかったんだ…
比べたことがないから
わからなかったけど)



だからもう少し
優しくしなさい

ハアハア...

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

(麻衣さんがこんなに色っぽく...)

(僕のチンコで乱れて
艶っぽくなってる...ごっく)



あー♡

麻衣さん…
麻衣さん…

あー♡

ふふ♡
ふふ♡
ふふ♡

ふふ♡
ふふ♡
ふふ♡

あんツ♡…
こらもう少し休ませて…
んんツ♡

んん♡



んッ♥…何言ってるの…
こんなおばさんに…あんッ♥

麻衣さんの表情がとっても
色っぽくてつい我慢できなくて…

(私そんなに発情してた?…
息子と同じ年の子に
こんな簡単にイカされて…)

(女の顔になってたなんて…)

ぬぶっ♥
ぬぶっ♥
ぬぶっ♥

ぬぶっ♥
ぬぶっ♥
ぬぶっ♥

んッ♥

あッ

んッ♥



麻衣さん…
ちゅッ…ちゅぱッ

んんッ!?!?
ちゅッ♥…ちゅくッ♥
こら!!…
ダメだからキスは…
んちゅッ♥

あッ

あッ

ぬぶ♥
ぬぶ♥
ぬぶ♥

ぬぶ♥
ぬぶ♥
ぬぶ♥

んッ♥



ごめんなさい...
でも麻衣さんの唇が
艶めかしくてつい...

ちゅッ♡...
ちゅぱッ...

(私そんなに感じてるのが
表情にでてるの?)

(ひとまわりも年の離れた子に
女の顔をみせて...)

あー

んっ♡

ぬぶ♡
ぬぶ♡♡

ぬぶ♡
ぬぶ♡♡

んっ♡



あう

あう

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

んっ♡

ちゅくッ♡
もう唇は許してあげるから…
お願いだから少し休ませて…
ちゅばッ♡

初キスは麻衣さんに
捧げたくてついごめんなさい…
ちゅくッ



あー

んっ♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

ちゅばッ…
止められないです…

こんな密着してたら
触れ合う肌も麻衣さんの
おまんこの膣内も気持ち良すぎて…
ちゅくッ

んっ♡

んんちゅッ♡…ダメッ…
また来てるから…
そんな動いちや…
んちゅくッ♡



ちゅくッ…
こんな僕のチンコで
気持ち良くなってくれてるんだ…

ぬぶっ
ぬぶっ
ぬぶっ

ぬぶっ
ぬぶっ
ぬぶっ

あ♡

あ♡

(伝わってくる…
柔らかい唇の感触から…)

(おまんこの膣内の感触からも
僕とのセックスで
感じてくれてる事が)



(恥ずかしい…
大人の私が年下男性相手に
いいようにされて…)

んっちゅ♡…
落ち着いて…
もう少しゆっくりお願い…
んん♡♡

(夫にも見せた事のない
いやらしい表情をさらして…)

あ

ん♡

ぬぶ♡
ぬぶ♡
ぬぶ♡

ぬぶ♡
ぬぶ♡
ぬぶ♡



あう

(春樹が早くおさまってくれないと… 私の方がおかしくなっちゃう…)

ちゅぱッ♥…今日だけ…
本当に今日だけだからね…
んんちゅッ♥

あう

ぬぶッ♥
ぬぶッ♥
ぬぶッ♥

ぬぶッ♥
ぬぶッ♥
ぬぶッ♥

ちゅくッ…
麻衣さんこのまま
キスしながらイキたい…

僕と恋人のように
愛しあいながらイキたい…
ちゅぱッ

んッ♥



イキます…
麻衣さんの膣内でイキます！
ちゅくッ…

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡
ぬぶっ♡

んっ♡

あ

んっ♡

私もだから…
早くイッて…
ちゅぱッ♡



あ

イクッ…
イクッ!

イクッ…
またイッちやうツッ…

んッ♡

ぬ
ぶ
♡
♡
♡

ぬ
ぶ
♡
♡
♡







!?

!?

ただいま!!

が
た
や
...





ハアハア…
健吾が帰ってきた…

さあ今日はこれでおしまいね…

うっ…
でもまだ足りないよ…

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ



約束したでしょ!
これで満足しなさい

はあッ

はあッ

うッ...

はあッ

はあッ



母さん！
あいつ遊びに来てる？

えッ…ええ…
さっき家に来たばかりよ

(ああっ…
なんていやらしいお尻なんだ…)

(大きくてふくよかで
柔らかいお尻…こくッ)





そうなんだ。
もう俺の部屋にあがってもらってる？

えっと…
今はトイレかもね？

(さっきまでこのおまんこで
麻衣さんとひとつになっていたんだ…)





(健吾の前で母親の
麻衣さんとセックスしたい...)

(もっとしたい...
麻衣さんとセックスしたい...)



ん♡

きやッ!?!..
んんッ♡

(ダメッ!?!..
いきなりで声が漏れちゃう...)

(ごめん我慢できない..
このまま後ろから)

ん♡

ん♡

ん♡



んっ♥…何でもないので…
ちよつと体調を崩してて…
それでちよつと…んんっ♥

あう

んん

ん？
どうしたの母さん？

んん

んんんんんん

んんんんんん



ごめん…止められない…
こんなスケベなお尻を前にして
興奮しないわけないよ…

こら…やめなさい
健吾に見つかっちゃうでしょ！

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



あッ

ここまででしたら
もう止められないから…
麻衣さんのヌルヌルおまんこが
気持ち良すぎて…

んッ♥…
なに恥ずかしい事言って…
声のでてバレちゃうでしょ…
んんッ♥

んんッ♥
んんッ♥
んんッ♥

んんッ♥
んんッ♥
んんッ♥



んっ♡

ありがとう
気を使ってくれて…
んんっ♡

母さん本当に大丈夫？
毎日無理して働いてるから
休める時にはちゃんと休みなよ

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



あう

んんッ♥
そうよね…んッ♥

(また奥まで届いてる…
大きい春樹のモノが…)

それにもうすぐ
再婚の予定もあるんだし、
大切な時期なんだから体を大事にしなよ

ちゅちゅ
びしょ



昔から母さんに親しんでたから
自分の大事な人が取られると
思ってたんだらうな

春樹に再婚のこと
伝えたらビックリしてたよ。



あう

んんッ♥
あの子が私の事でそこまで
想ってるわけないでしょ…
んんッ♥

(ゴム越しからでも伝わる…
この子の熱いモノの形が…)



んっ♡

んっ♡…わかってるから…
大事な予定なんだから
台無しにしないように…
あっ♡

(膣内で太くなってきてる…
何でこのタイミングで
固く大きくなるのよ…)

んっ♡

んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡

まあ早く体調を治してくれよな
来週はその婚約者との
泊まり込みの旅行もあるんだし



あう

んんッ♥…ありがとう…
その時はお願いするから…
んッ♥

(動きが激しくなってきた…)

(イキそうなんだ…
健吾の目の前で
気持ち良くなりたくて
必死に動いて…)

俺も一緒に遊びに行くんだから
準備に必要なものがあつたら
遠慮なく言ってくれよな。
手伝うから

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



んっ♡

じゃあいつが
トイレをすませたら言っておいてよ
先に部屋にいくから

ええッ…
先に待っててあげて…
春樹の事を…あッ♡

んっ♡

(イクッ…
私も息子の前でイクッ…)

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



あう

ええッ
早くイッて…
早くッイッッ…

ん

じゃ頼むよ

ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん





(ああっ…ゴム越しなのに
僕の精子が吸い出されるように…)

(膣内がうねる様に蠢いて
吸い出される)

はぁっ
はぁっ

はぁっ
はぁっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ


ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ



(僕の精子がゴムの中に
こっぴなこっぴなしてる...)

(イキすぎてもうダメッ...
体に力が入らない...)



こうして一日だけの
恋人関係は終わってしまった…

だけどこの日の事を忘れられない僕は
麻衣さんにまた無茶なお願いをする事に…

それから数日後……

敏則さんすみません。
急なお願いなのに、
今回の旅行にこの子も受け入れてくれて



いいえ問題ありませんよ
今から向かう別荘は充分広いので

それに春樹くんの事は
前から知っていましたし



昔からの付き合いで
麻衣さんとは家族のように接していたと
健吾くんから聞いてますよ

ええッ…
まあそうなんですけどね

今日は僕も連れていってくれて
ありがとうございます



こちらこそよろしく

(今日初めて会うけど
礼儀正しくて良い子じゃないか)

敏則さん別荘では何ができるの？



そうだね。
パーベキューや運動スペースが充実してて
食事や遊ぶ施設は一通り揃っているとこだよ

じゃあこの前みたいに
またスポーツ対決やりましょうよ



俺だって負ける気はないですよ

ああわかったよ
今度は前のようにいかないからね



いえいえ…
遠慮なんてしないでください

もう…
すみません車内ではしゃいでしまつて

あの目だけの約束だったけど
未練が残った僕はどうしてもあきらめられなくて



婚約者の別荘の旅行を
僕も連れて行ってもらえる事だ…

そして別荘に到着した僕達は
四人でテニスで遊ぶ事になり

健吾と敏則さんが
試合に夢中になってるよ

僕は休憩中の麻衣さんを裏手に誘い込んだ

ちよつとどうしたの？
こんな所に呼んで…ドキドキ

麻衣さん…ごめん…
僕あの日の事が忘れられなくて
勃起がおさままなくてこのままじゃ



ちよつと…
こんな場所でどうして
大きくしてるのよ!?

麻衣さんとセックスしたくて…
あの時の事が頭から離れないんです…



あれは…
あの時だけの約束だったでしょ？
それに今日は敏則さんも
すぐ側にいるんだし…

うっ…

(やっぱりダメなのか？…
あきらめなければいけないのか…)



えッ本当に!?

でもこんな状態じゃ苦しそうだし…
仕方ないから処理してあげる



でも本番はダメッ！
お口でしてあげるから
それで我慢しなさい

わかったよ…
我慢するから
お願い麻衣さん



ごくッ…
ハアハア

(麻衣さんの息がかかって…
早く口に含んでほしい…
僕の勃起チンポを)

あーっ
あーっ
あーっ



それじゃ啜えるから、
おとなしくしてなさい…
くちゅッ♥…ちゅくッ♥

あッ…
麻衣さんの初フェラ…
口の中がヌメヌメで良い

ちゅくッ♥
ちゅくッ♥

ちゅくッ♥
ちゅくッ♥

ん♡

ん♡



ぐっちゅゅ♡…ちゅくっ♡…
こらそんなに暴れないで
こんな大きなモノは大変なんだから…
ぐちゅッ♡

うっ…でも
もっと奥まで啜えてほしい…
麻衣さんお願いもっと奥まで…

にゅほ
にゅほ
にゅほ
にゅほ

ん♡

ん♡

ん♡



ちゅぐッ♥…
もう少し待ちなさい…
慣らしていかないと…
ぐちゅッ♥…ちゅぱッ♥

ああっ…温かい…
麻衣さんのノドにまで届いて
気持ち良い…

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

ん

ん



ぐっちゅゅゅ...
ちゅゅゅゅ...
ちゅゅゅゅ...

(もうこんなに
ノドの奥まで届いてる...)

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

(まだ根元まで
啜えこんでないのに
なんて大きいのに...)

んっ♡

んっ♡



麻衣さんごめん…もっと入れたい…
ノド奥の狭い所で絞めつけられたいから…
根元まで啜えてほしい

ぐちゅッ♥♥…
ぐちゅぐ♥…
ダメこれ以上は…

(苦しい…
ノドが締まって
息がしづらい…)

いゅほ
いゅほ
いゅほ
いゅほ
いゅほ
いゅほ

ん♡

ん♡



ハアハア…すごい…
口の中でチンコがしごかれて気持ち良い…
ノド奥に絞めつけられてすぐにイキそう…

ぐっぽ♡…
ぐっぽ♡…

(苦しいのに
私も変な気分になって…)

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

(なんで私の体は
この子のモノを求めてしまうの…)

ん♡

ん♡



もう我慢できない…
激しくするけど許して…

ぶぶツ♥…ちゅぐツ♥…
ダメツこんな大きなモノでされたら…
ぐっちゅ♥

にゅにゅ
にゅにゅ
にゅにゅ
にゅにゅ
にゅにゅ
にゅにゅ

ぽん

ぽん



そんな事言われても…
出し入れるたびにイキそう
で麻衣さんの口内で射精したい!

ぐっぽ♡…
ぐっぽ♡…

(絞まってノドがキツいの…
まだ膨らんで苦しい…)

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

(射精する為に
太く固くなってくる…)

ん♡

ん♡



麻衣さん…
僕の精子飲んで！

ぐちゅッ♥…
ちゅぐっ♥…

(ビクビクしてる…
私の口の中に吐き出したくて…)

いっしょに
いっしょに
いっしょに
いっしょに
いっしょに
いっしょに

ん♡

ん♡

ん♡



イクッ：
行くよ麻衣さん

ぐちゅッ♥
ちゅぐッ♥

(くる…
この子の精子がくるッ…)

ん♡

にゅほ
にゅほ
にゅほ
にゅほ

ん♡







ハアハア...

(なんて濃い精子...
口でただけなのに
私まで濡れて溢れてきてる...)

(こんなの何度も
味わったら
後戻りできない...)

(婚約者がいるのに...
それなのに...)

はぁ...
はぁ...

はぁ...
はぁ...



ハアハア：
麻衣さん僕まだ満足できない…

見てよ。
僕の勃起したチンコを

(射精して臭いが強くなってる…
それにこんなに固いままで…)

うっ…

はあ
はあ

はあ
はあ

(こんな遅い男のモノでされたら…
あの日のようになってしまおう…ごくっ)



だったら今度は
これで我慢して

これで？

ほら私ので
はさんであげるから…
この中で気持ち良くなりなさい

はあッ

はあッ♡

はあッ♡

はあッ♡

麻衣さんのパイズリ…
おっぱいがデカくて
僕のチンコが沈んでいく…

はあッ

はあッ♡



これでどう？
満足できそう？

はぁッ

はぁッ

もっと手で圧迫してほしい…
麻衣さん自身で乳房を
抑え込むようにしごいてほしい

はぁッ
はぁッ



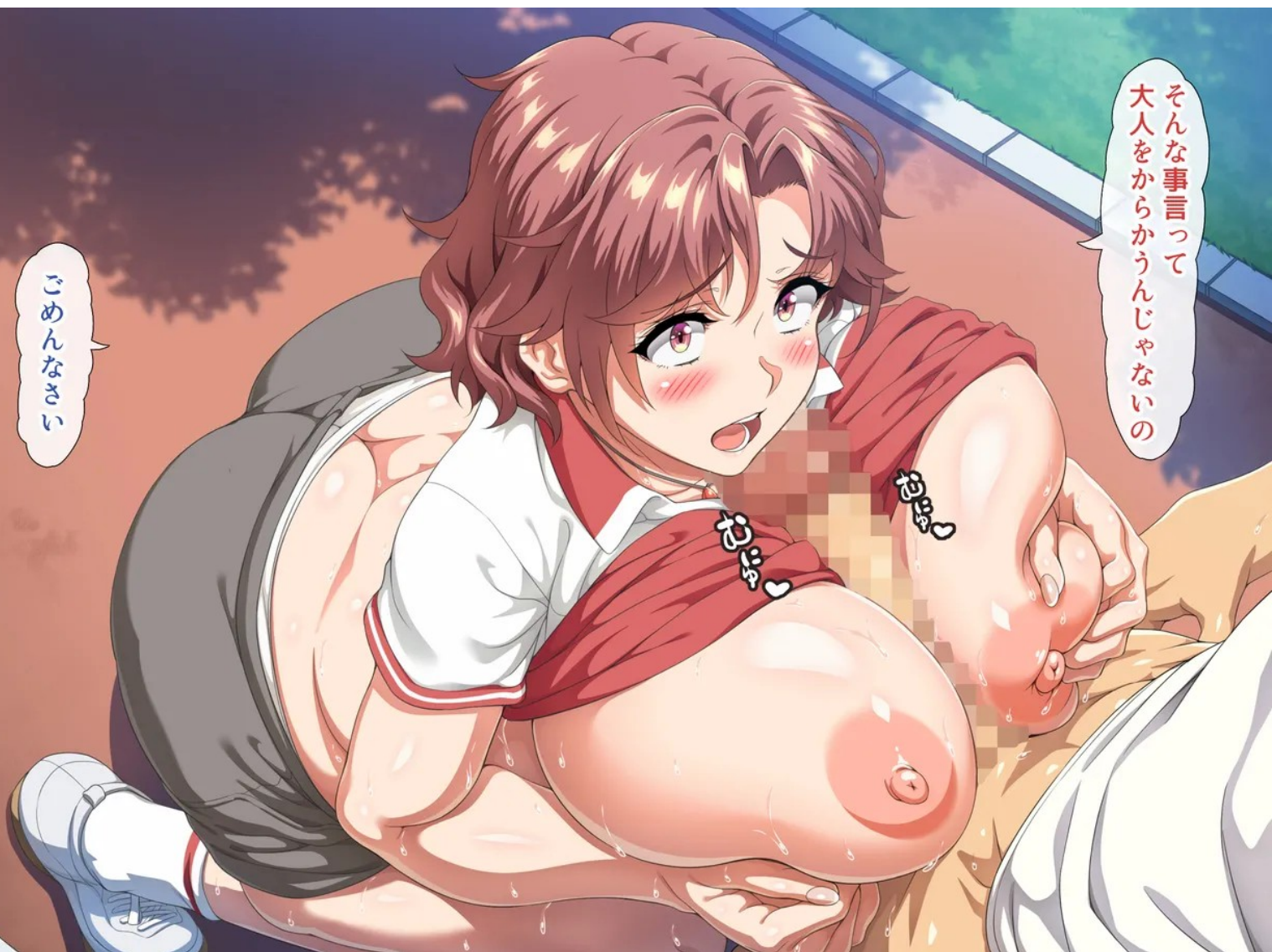
そんな卑猥な要求をして…
まったくこっちも恥ずかしいのに

恥ずかしくて…
麻衣さんも素敵で…
ついお願いしてしまってます



そんな事言って
大人をからかうんじゃないの

いめんねご



ハアハア…
私の胸の中で
どんどん太くなってきてる

はあッ

はあッ♡

(一度だけじゃ満足できずに
ビクビクと脈打って…)

(それに私の胸が
火傷しそうになるくらい熱くなって)

はあッ

はあ♡



麻衣さんのおっぱい
柔らかいのに乳首がコリコリして…

はぁッ
はぁッ
はぁッ

はぁッ

はぁッ

僕のチンコと
擦りあって気持ち良い…





春樹もこんなに固くして…

(目の前の逞しい男のモノから臭いが漂ってくる…)

(こんなのずっと嗅いでいたら頭が真っ白になるじゃない…)

ハアハア…
麻衣さん…僕またイク…

このまま
麻衣さんに射精してしまう…





でも麻衣さんにぶっかけたいよ
外に出したくないよ

ダメよ…
私にかけちゃさすがにバレるから



もうそれじゃこれでどうや...
ちゅくッ♥

あっ...
パイズリでしごかれてるのに
麻衣さんのフェラで
僕のチンコの先端がしゃぶられて...

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

また飲んであげるから
私にかけるのは我慢しなさい…
ちゅくっ♡…ちゅぱッ♡

我慢します…
飲んでくれるのなら我慢します

んっ♡

んっ♡
ちゅっ♡

んっ♡
ちゅっ♡

んっ♡





(ああっ…
私も啜えているだけなのに
湿ってきてる…)

(下半身から
漏れ出してきている)

んっ♡

ちゅばッ♡…
ちゅくッ♡…



イクよ…
麻衣さんのおっぱいの中で…
口の中でイクから…

ちゅッ♥…ちゅくッ♥…
出して…私の口内で吐き出してッ…

(私もッ…くるッ…
気持ち良いのがくる…)

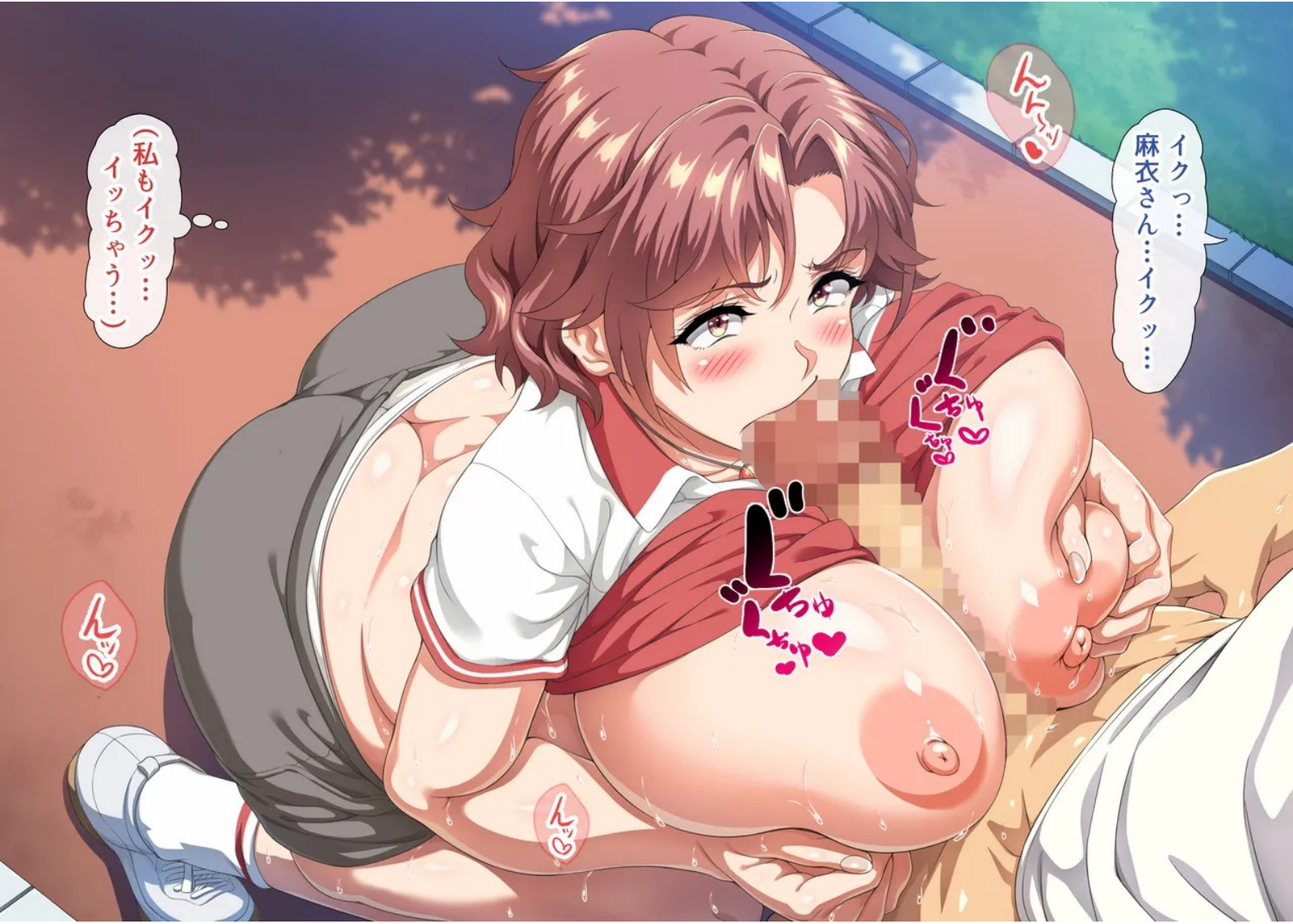
ん♡

ん♡
ちゅ♡

ん♡
ちゅ♡

ん♡





(私もイクッ…
イツちやう…)

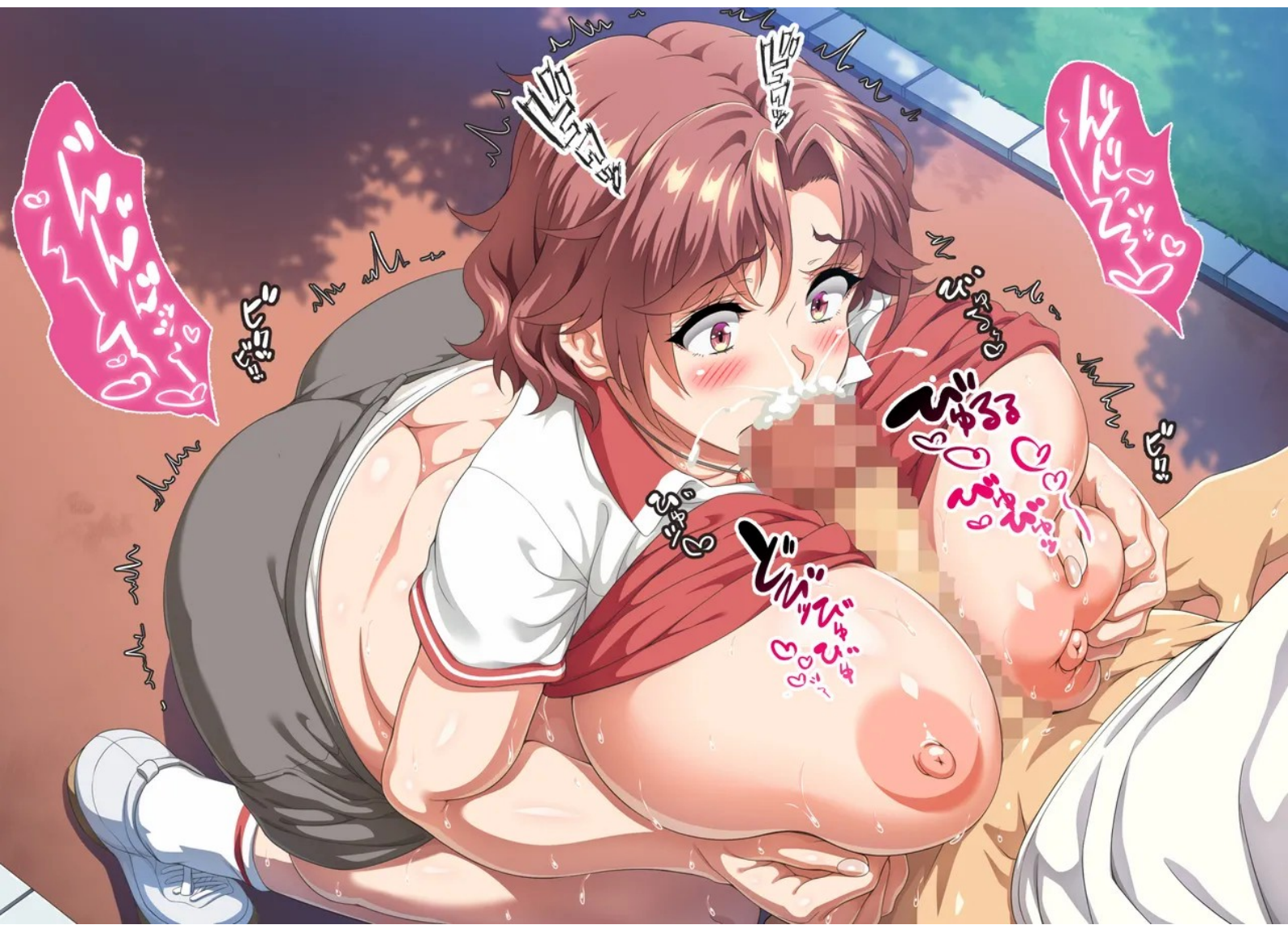
イクっ…
麻衣さん…イクッ…

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

んっ♡





うっぐ♡♡♡
ぐちゅッ♡♡♡じゅるッ♡

ハアハア…
麻衣さん

(吸い出されてる…
麻衣さんから
僕のチンコの中に残っている
精子が吸い出される)



ごっくん…
ハアハア…

はあッ

はあッ

ハアハア…

(麻衣さんも気持ち良くなって
こんなに漏らして…)

(挿入れてもない
僕のチンコだけでこんなになって…)



じゅわん

じゅわん

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

はい…もう戻るよ
二人しでずっといなくなったら
怪しまれるでしょ

うんわかった



そして運動場での遊びを終えた僕達四人は
パーベキユを開始したのだが

性欲を我慢できない僕は
また二人つきりになれる場所に
彼女を連れてきて性行為を頼み込むことに…



麻衣さん!...
その倉庫にありそうですか?
もしわからないのなら
私もそっちに行って手伝いますよ?

ハアハア...
いいえ大丈夫ですよ
春樹も手伝ってくれますし...
んんッ♥

はあ?

はあ?

はあ?

はあ?

いんちき♡
いんちき♡
いんちき♡

いんちき♡
いんちき♡



そうですか…
それじゃこっちは
先に食事を始めますね

待ってました！
敏則さんこの食材とっても
美味そうで楽しみだよ

はぁっ

はぁっ

あぁっ
あぁっ
あぁっ

いっ
いっ
いっ

はぁっ

はぁっ



麻衣さん
ごめんなさい…

こんな時なのに
また勃起してしまって…

ん

ん

ん

ん

ん

ん



私も手伝ってあげるから
早くすませなさい…
んんッ♡

(目の前に婚約者の
敏則さんがいるのに…)

ちゅ
ちゅ♡
ちゅ♡

い
い♡
い♡

んん♡

あう

(でも私だってあの日から
欲求不満でたまってる…)

んん



(この子と同じように
あの日の事が忘れられなくて)

ちゅん♡
ちゅん♡

いん♡
いん♡

Beん♡

あ♡
あ♡

(数年ぶりに自分の事を
慰めて抑えていたのに...)



(この子に
変えられてしまってる...)

(発情してしまっている女の体に)

ん

ん

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



ハアハア：
麻衣さんのおまんこから
涎のように愛液が垂れてきて…
僕のチンコが
ヌルヌルになって擦れてるよ

んっ♡…
んんっ♡…

ん♡

ちんこ♡
ちんこ♡

ん♡
ん♡
ん♡

あ♡

(あの日の時とちがって
生の男のモノが擦れて…)

(私の敏感なクリトリスと
擦りあって頭が痺れてくる…)



(直接触れてるから…
この子の固くて熱いものが伝わって
今までよりも全然違って感じる…)

あーん

あ

あーん
あーん

あーん
あーん

あーん



あッ♥
んんッ♥

ん

あッ

(こんな熱くて太いものももし
間違っって私の膣内に
挿入ってしまったら…ごくッ)

あッ

んんんんん
んんんんん

んんんんん



ハアハア…
麻衣さんムチムチした
太腿ではさまれながら
コリコリしたクリトリスと
擦れあって気持ち良いです

おまんこからもねっとり
愛液が噴出して…
すごくいやらしい気分になります

んんん

あう

ちゅ
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん

んんん



んっ♡：
絶対腔内に挿入れちゃダメだからね
そんなことしたら許さないから…
んんっ♡

うん…わかっているから…
だから僕が満足できるまで
シゴいて！

んっ♡

あっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡



やっであげるから…んっ♡
このままヌイてあげるから…
んんっ♡

(もう少しで…
ほんの少しズレただけで
挿入っちゃう…)

ちゅ
ちゅ
ちゅ♡

い
い
い♡

んん♡

ん

(春樹の生のおちんちんが
私のおまんこに…
あの日のようにイカされて…ごくり)



(ハアハア…
それだけはダメッ…
大人の私が守らないと)

(私は敏則さんの婚約者なんだから…
私がこの子を満足させて
この関係を終わらせてあげないと…)

ん

あ

ん

ん



麻衣さん…まだ見つからない？
すぐにわかる所にあると思ったけど

母さん！春樹！
早くしないと美味しい
食材がなくなるぞ

んんん

あう

んんん

あう
んんん
んんん



んんッ♡…あッ♡…
もう少し待ってて下さい…
あと少しだから…あッ♡

(今晚、敏則さんとの
初めての関係をもてたら…)

(私の欲求不満も解消できて
丸く収まるはずだから…)

あ〜♡

ちゅん♡
ちゅん♡

ちゅん♡
ちゅん♡



(それまでは
ごめんなさい敏則さん...)

(もう少しだけ待ってて...)

んん

あ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

い
い
い

ん



ハアハア…
麻衣さん…僕…僕もう…

んっ♥…イキそうなのね？
じゃこのまま外に出して…
んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥
んっ♥
んっ♥

んっ♥
んっ♥
んっ♥



うんイクよ…
麻衣さんの素股で…
ムチムチの太ももに挟まれてイクからッ…

ハアハア…イッて…
私の太ももでスッキリしてッ…
んんッ♥

んん♥

ちゅちゅ♥
ちゅちゅ♥

いっぺん♥
いっぺん♥

んん♥



イクッ…
イクイクッ!

んっ♡…
あッ♡…んんっ♡

んっ♡

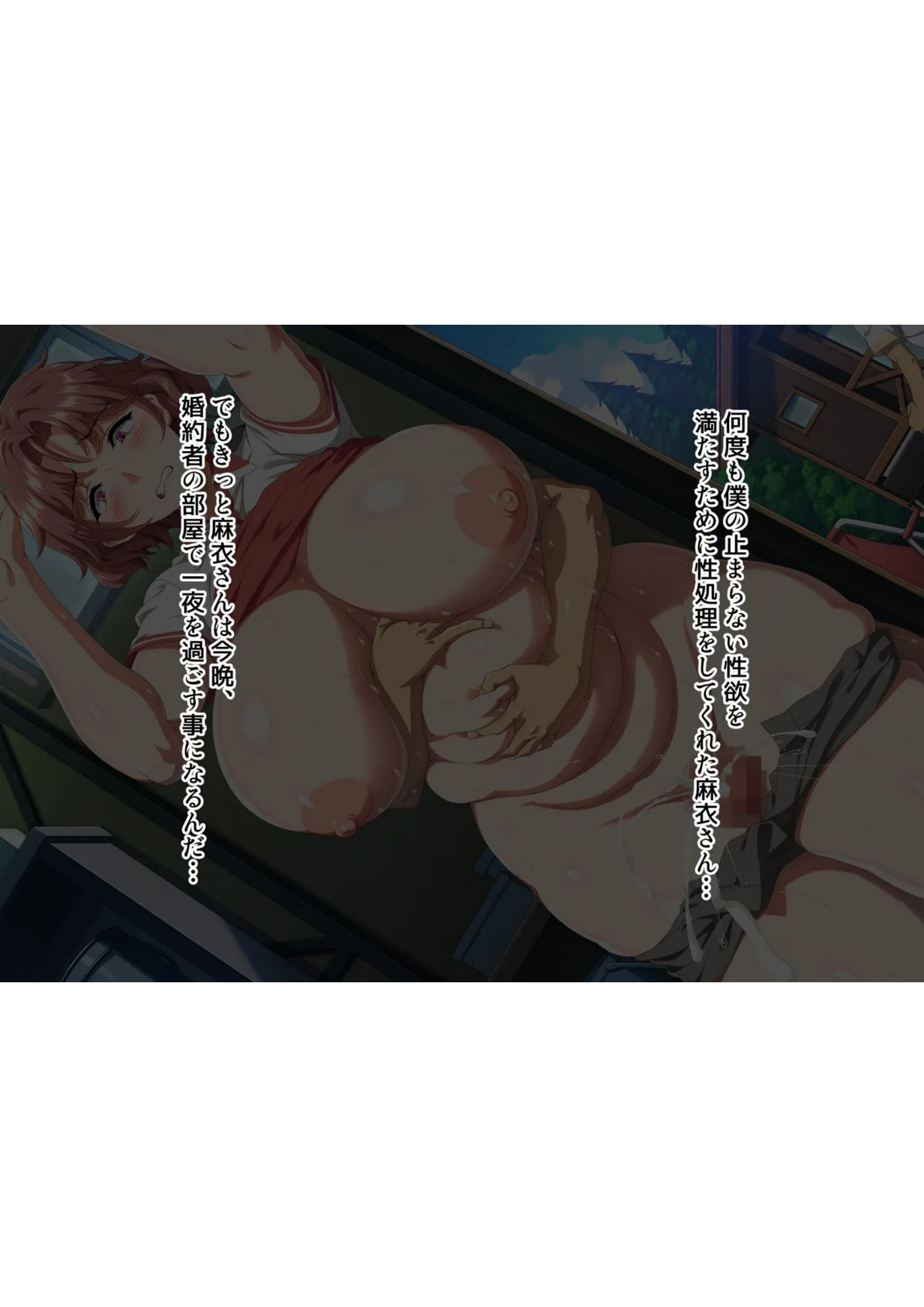
んっ♡
んんっ♡

んっ♡
んんっ♡

んっ♡

(私も…イクッ…
クリトリスの刺激でッ…
イクッッッ)





何度も僕の止まらない性欲を
満たすために性処理をしてくれた麻衣さん…

でもきつと麻衣さんは今晚、
婚約者の部屋で一夜を過ごす事になるんだ…


分かっていた事だけと僕と麻衣さんは
ただの親しい知り合い関係なだけ……

恋人関係ではないから……



麻衣さん今日は
私の誘いを受け入れてくれてありがとう

ええっ...こちらこそ
子供達も喜んでくれたみたいで嬉しかった



楽しんでもらえて良かった。
誘った甲斐があったよ

ふふッ…
ありがとうございます



敏則さんそんなに
ジロジロ見られたら恥ずかいです…

ごくっ…
麻衣さんとても綺麗だ



ははッ…ごめん今夜が
初めてだから少し緊張してしまっ…

私もしてるから…
でも今日はずっと
楽しみにまっていたから早く…



は
❤️

ごくり…
それじゃ始めるね



(これで私も満たされて...)

んんんんん

んんんんん

ん

ん

(挿入ってきてる...
私の膣内に...)

ん
んん
んん

ん



(熱くて波打つように
快感が響いてこない...)

ん
まぢ
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん

(春樹との行為のように
波が来ない...)

(あれ!?!?
何だか変...
思ったほど感じられない...)



えっ!?!…んんッ…
はい気持ちいいです…

んん
ハアハア…麻衣さん…
どうですか?
気持ち良いですか?

んん

んん

んん

んん
んん
んん

んん
んん
んん



(もしかして春樹だから
あれだけ感じられたの?)

(セックスってあんなに気持ち良い行為だと
思い出しただけだと考えたけど違うの?…)

(あの日は久しぶりだから…)

(嘘…あの子と比べて
刺激が少ない…)

お
ち
ま
い

に
こ
ろ

あ
い



(もうイクの?…
私まだなのに…
これじゃダメッ…
このままじゃ私満たされない!)

えッ?…うん…
一緒に私と…んんッ♥

おち
まぢ
ちぢ

に
ちぢ
ちぢ

あ
ぢ

麻衣さん…イクよ…
麻衣さんも一緒に…







えっと…
うん気持ち良かった

気持ち良かったよ麻衣さん…
君も良かったかな？

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



それは良かった…
それじゃ今日はもうおやすみなさい

えっ!?!
あっ…おやすみなさい

(たった一回で満足したの…)

(そっ…そうだよね今日は朝から
私達の為に色々とお世話してくれてたし…)

(仕方ないよね…)

別荘で健吾と一緒にの部屋にいる僕は
眠りにつく事ができずリビングに向かった

麻衣さんが婚約者と共に
ベッドで過ごしているのを想うと
辛いので気晴らしになると思ったからだ…

しかしリビングに降りてきた僕は
偶然同じタイミングでおりてきた麻衣さんと
鉢合わせしてしまい気まずい空気が流れた

あっ…あの麻衣さんも眠れないんですか？



(麻衣さんはきつと、
ついさっきまであのひととベットで…)

ええっ…
そんなところ…

ふだんと違った場所だと寝付きにくいでもんね

(婚約者の敏則さんは良い人そうだった…)



(麻衣さんはきつと僕よりもあの人と結ばれる方が幸せになるはず)

うん。…そうかも…

ドゥ
ドゥ
ドゥ



(心が苦しい…
僕の大好きな女性が
他人の男のモノになるのが苦しい…)

(僕は麻衣さんの
再婚を受け入れないといけないのに…)

(婚約者に抱かれた
豊満で瑞々しい肉体が…)



(ハアハア…
それに麻衣さんの薄着姿がエッチで)



麻衣さん…ごめん僕！

えっ!!?



やめなさい！
こんな無理やり…んッ♥

はあッ

はあッ

ハアハア：
お願い麻衣さん
僕もう一度したい…

はあッ

はあッ

ちびっ♡

ちびっ♡



スッキリしたいなら
手でも口でもしてあげるから…
それをしまつて…ハアハア

はあッ

はあッ

麻衣さんだつてあの日から
ずっと溜まつてたんでしょ？
僕のチンポが欲しくて
体が疼いてるんでしょ？

ちんぽ♡

ちんぽ♡

はあッ

はあッ



そんな事は…

いつも下着まで
お漏らししたように濡らして
本当は挿入れてほしくて
たまらない癖に！

トキ
トキ
トキ
トキ



ドキ
ドキ
ドキ

(でもこのまま本当にセックスしたら私...)

(見抜かれてる... 私がこの子を求めてる事が...)

やだッ...ダメッ...
本当にやめて...

(ちゃんと理性を保って断らないと)



もう無理…
挿入するから!

あッ♥…ああッ
あんんッ♥…

(イクッ…イッちやうから…
女にされちやうから…)

あッ♥…ああッ
あんんッ♥…

あッ♥…ああッ
あんんッ♥…

あッ♥…ああッ
あんんッ♥…

あッ♥…ああッ
あんんッ♥…



麻衣さんイッてる…
僕の生チンポで即イキしてる…

あんツ♥…あんツ♥…
ヤダっ…見ないで…
イッちやうから…
私イカされてるから…あんツ♥

ズル
ズル
チユウ
チユウ

ズ
ズ
チユウ
チユウ

ん
ん

ん
ん

ん
ん

ん
ん
ん
ん



ハアハア…
なんてスケベな体なんだ…
僕の好きな女性は…

あんツ♥…あんツ♥…
動いちゃダメツ…
気持ち良いから…
イッてるのに気持ち良い所に
擦れてまたイクから…あんツ♥

んんん

んんん

んんん

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



麻衣さんとの
生セックス…

んんん

んんん

んんん

僕のチンポを啜えたスケベな
汁まみれのおまんこに
出し入れして気持ち良いよ

ズルッ チュッ

ズグッ チュッ



あんツ♥…あんツ♥…
春樹の生チンポ気持ち良いから…
固くて太いチンポでしちやダメツ…
あんツ♥…あんツ♥

ズルッ
チンポ

ズルッ
チンポ

あんツ

あんツ

あんツ

(今日は危険なのに…
それなのに私の体は
悦んで反応してる…)



腰が止まんないよ…
麻衣さんの生まんこ…

奥まで欲しそうに
僕のチンポを離さないように
締まって気持ち良いよ！

ずっと求めてたんだね。
僕のチンポを！！

ん♡

ん♡

ん♡

ブルブル

グググ



あんツ♥…
求めてたけどダメなの…

今日は生でするのは
危険な日だから…
あんツ♥…あんツ♥

麻衣さん今日が危ない日って…
もしかして!?

あん

あん

あん

ズル
ズル
ズル

グ
グ
グ
グ
グ
グ



あんツ♥♥
膣内で大きくなって…
さつきよりも固くなってきてる…
あんツ♥♥あんツ♥♥

(何で?…
私を妊娠させられると知って
興奮してるの?)

んっ

ブルブル

ググ

んっ

ハアハア：麻衣さん…
僕中出ししたい…
麻衣さんの子宮の奥に届くように
中出ししたい!



だからイクよ…
僕の精子を受け取って麻衣さん!!

あんツ♥…
赤ちゃんできちゃうから…

そんな大きなチンポで突かれたら
子宮が潰れて奥まで届いちゃうから…
あんツ♥…あんツ♥

んんん

あ

あ

ズルッ
ズルッ
ズルッ

グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ



麻衣さん：
麻衣さん！！

ダメッ…イクから…
イッちやうから…
イクイクツツ…

んん

んん

ズル
ズル
ズル
ズル
ズル

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ







搾りだされる…
麻衣さんのおまんこが
僕の精子を搾りだして…

(ごめんなさい敏則さん…)

(春樹の子種が大量に注がれて…)

(ダメな事だっつて
わかってるのに抗えない…)

はあッ
はあッ

はあッ
はあッ



ハアハア…
麻衣さん次はあそこの
テーブルに座って

はあッ

はあッ

ハアハア…はい

はあッ

はあッ



(もうこのチンポが
欲しくて我慢できない...)

(婚約者がいるのに...
大人の私が律しないとイケないのに...)

はぁっ
はぁっ

はぁっ
はぁっ

たのしみ

たのしみ



だって気持ち良いから…
こんなの初めてだから…
あんッ♥…あんッ♥

麻衣さんすごくいやらしい顔してる
あの時みたいにトロトロになって…



んんん

僕が初めて…
それはどの男よりもいって事？

そんなの言えないから…
あんッ♥…あんッ♥

(夫とも敏則さんとも
全然違う快感…)

あう

(こんなおちんちん味わったら
女に成り下がるしかないじゃない…)

んんん
んんん

んんん
んんん



あんツ♥
調子に乗るんじゃないの…
あんツ♥…あんツ♥

あッ

ニギキキキキ

ニギキキキキ

あッ

ん

それって僕が
一番って事だよな？



んんん

そうなんだ…
僕とのセックスが
一番気持ち良いんだ…

(このまま奪いたい…
僕の好きな麻衣さんを
他の男から奪い取りたい…)

あんツ♥…あんツ♥…
激しくないで…
さつきイッたばかりで敏感になってるから
激しくされたら…あんツ♥

んんん
んんん



もっと突き上げてあげる…
麻衣さんがもっと感じてもらえるように
頑張るから！

お腹の裏側が
敏感になってるんだね



(この子のおちんちんの形…
私を感じるところに
絡むように擦れて…)

ニギニギ
ニギニギ
ニギニギ

ニギニギ
ニギニギ
ニギニギ

あんなに♡♡…
嫌だっけ言ってるのに…
そんなに突いちゃダメッ…
あんな♡♡…あんな♡♡…

んんん



(この子なしじゃ
生きられなくなるから...)

あーっ

(このままじゃ体も心も
満たされて...堕ちちゃう...)

ニギキキキ

ニギキキキ

あーっ

ん



子宮の中に溢れ出すくらい
大量に子種で満たしてあげる

麻衣さん…
もう一度中出して
満足させてあげる



(この子の精子で
満たされたいって願ってる...)

あーっ

(注がれる...
拒否しないとイケないのに
体が拒めない...)

あんッ♥...あんッ♥...
ダメ抜きなさい...
おチンポ抜きなさい...
これ以上はッ...イクッ...イクッ

ズンズンズン

あーっ
ズンズンズン



あ

んん

あんツ♥…あんツ♥…
私もイクツ…イツちゃう…
精子が流れ込むのに…
イクイクツツツ…

イクイクイクイク

イクイクイクイク

イクよ…
膣内にこのまま子宮にイクツツツ!!







ハアハア...

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

(健吾が降りてくる)

麻衣さん
僕の側で隠れて...





なんだここにいたのか...

ああっ...
ちよつと寝付けなくて...

はぁっ

はぁっ

ちゅっ♡
ちゅっ♡

(ハァハァ...
春樹のチンポ...
まだこんなに勃起して...)

はぁっ
はぁっ



そうか…実は俺もちよっと色々
思うところがあつて目が覚めたんだ

んんん

うっ…そうなんだ

(啜りたい…
このチンポを味わいたい…
ちゅくッ♥…ぐっちゅ♥)

ぶちゅ
ちゅ♥
ちゅ♥

んんん

んんん

んんん

(麻衣さん…
今はまずいのに)



何か悩みでもあるのか？

(あっ…昼間のフェラよりも積極的じゃぶられてる…)

(奥まで離さないように吸われて…会話に集中できない…)

ん♡

ん♡
ん♡
ん♡
ん♡
ん♡
ん♡

ん♡

ん♡



悩みというか…
考えをまとめようとしているところかな

考えとは？…

(ごめん健吾…
僕はお前の母親に
チンポを啜えられて興奮してて…)

にゅ
にゅ
にゅ
にゅ
にゅ
にゅ
にゅ
にゅ

(真剣な話なのに…
友達の母親とのセックスの事で
頭がいつぱいで…)

ん
ん

俺の母さんは俺の父さんが
亡くなってから一人で仕事も家の事も
身を粉にして頑張ってくれていたんだ

自分の人生を
犠牲にしてまで家族の為に…

そんな姿を見てたから
敏則さんとはうまく
幸せになっただけほしいと思ってる

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

(ごめん…僕も
麻衣さんと敏則さんの幸せを
願っていたけど…)

ん♡

ん♡





昔：俺が小さい頃は
父親以外の男が母さんに
すり寄ってくるのを嫌がって、

再婚しないでほしくて
ワガママ言ってたさ…
それを後悔してたんだ

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん

んんん

んんん



(息子の目の前で...
僕のチンポに夢中になって)

(激しくなって...
麻衣さんも興奮してるんだ...)

ハアハア...

ん

にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ

ん



父さんが好きだったから…
子供だから当時は
自分の気持ちに整理がつかなくて

だからこそ母さんには
第二の人生を謳歌して
ほしいと思ってる

(わかってる…
だけど僕はそれでも
麻衣さんと一緒にいたいと
思ってるんだ…)

んご

んご

んご



実はお前の母さんへの
気持ちにも気付いてたんだ。
だからかなり悩んでいた。

ハアハア…
いつからそれを？

んっ♡

にゅぽにゅぽ
にゅぽにゅぽ
にゅぽにゅぽ

(根元までしゃぶられてる…
ノドの締めりが気持ち良すぎて…
もう我慢できない)

んっ♡



そんなのずっと前からだよ
お前はいつも母さんを
目で追いかけてたからな

うっ…
バレてたのか…

(でる…健吾の目の前で
お前の母親の口の中に
精子がでてしまう…)



俺は母さんを幸せにするのは
お前だと思ってたよ。
ただ敏則さんが先にその機会に
恵まれていただけだと…

健吾…

(僕の事を
受け入れてくれてたんだ…)

ん♡

にゅほ
にゅほ
にゅほ
にゅほ

(嬉しい…友達が…
僕と母親が一緒になる事を
認めてくれていたことが…)

ん♡



まあそんなところだ…
俺もそろそろベットに戻るよ

んんん

ああ…
僕ももうすぐしたらイクから…
すぐにイクッ…

(麻衣さんがほしい…
僕のモノにしたいッ)

にゅほ
にゅほ
にゅほ
にゅほ

(このまま
麻衣さんのフェラでッッッ…)

んん





それじゃあな...

ガ
チャ...
バ
タ
ン

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

Giz



ごっくん...
ハアハア...

ハアハア...



麻衣さん…
僕は…僕は…

ぎゃッ!?



そ...それは...

麻衣さん僕に
もう一度告白させてください！



あーん♡

あん♡♡おちんちん…
春樹のおチンポが…あん♡

あーん♡
あーん♡
あーん♡

あーん♡
あーん♡

あーん♡

言葉だけじゃなく体でも
麻衣さんに伝わるようにしますから!!

あーん♡



僕と一緒にになってほしい！
僕を選んでください！！

そんな大事な事…
困るから…あんッ♥…あんッ♥

アッアッアッ
アッアッアッ

おんんん



あーん♡

私も春樹の事は好きだけど...
それだと...あん♡...あん♡...あん♡♡

好きなんです
麻衣さんの事が好きで苦しいんです!

あーん♡
あーん♡
あーん♡

あーん♡
あーん♡
あーん♡

あーん♡

あーん♡



今はまだ頼りないけど
必ず将来麻衣さんを
支えられるよう頑張りますから！

あんツ♥…だめツ…
そんな事言つて…
私みたいな年増のおばさんに向かって…
あんツ♥…あんツ♥

アツアツ
アツアツ
アツアツ

んんん

んんん



おん

年齢差なんて関係ありません！
こんな美人で若々しくてエッチで
魅力的な女性を諦めるなんてできない！！

あんツ♡
それでも私なんか
春樹の将来を背負わせるなんて…
あんツ♡…あんツ♡

ニギキキキ

ニギキキキ

おん

おん



あんっ♡...
そんな事言われたら...
あんっ♡♡... あんっ♡

背負います！
僕が麻衣さんの第二の人生を
共に暮らしていきたいです!!

アッアッアッ
アッアッアッ

おんんん

んんん

んんん



あーっ

麻衣さん…
もし僕の事を受け入れてくれるなら…
このまま孕んでください

あんっ♡…
本当にできちゃうから…
今日はそういう日なんだから…
あんっ♡…あんっ♡

んっ

んっ♡



もし嫌だったら拒んでください
子宮に出されないよう
僕のチンポを離してください

あんッ♥…あんッ♥…
そんなのすぐに選べない…
あんッ♥

アッアッアッ
アッアッアッ

んっ

んっ



おっ
おっ

イクッ…
私もイクから…
でも…でも…

イクッ
イクッ
イクッ

イクッ
イクッ
イクッ

イクますよ!…
麻衣さん僕を選んで
赤ちゃんを孕んでください!!

ん
ん

ん
ん



麻衣さんの膣内で一緒に…
イクッ…イクッ

イクッ…
イクイクッ

イクイクイクイク
イクイクイクイク

おっ
おっ





数ヶ月後：



いらっしゃい春樹...

こんにちは麻衣さん



ふふっ...そうね

だいぶ大きくなりましたね
赤ちゃん




あれから結局、麻衣さんは敏則さんと
再婚を果たすことになり新居で暮らす事に…

なのだけども…



元気な子に
育ってくれるだけで充分だよ

きっとあなたに似て
立派にすくすく育つはずよ



しかし彼女は僕の告白を受け入れてくれて
赤ちゃんを孕んでくれることに…

でも僕がまだ自立ができていないので、
お腹の子を育てる為に旦那や息子を隠して
僕との関係を選択してくれたのだ



ええっ待ってるから…
でもあまり無理しないでね♥

麻衣さん僕早く大人になって
迎えに行くから



あの子は春樹が来るから
安心して買い物を引き受けて
出かけたの…

それよりも麻衣さん…
健吾は今どこに？





ふふっ…そうね。
だからあなたもこんなに固くして
期待してるのね…

それじゃ今は
旦那もあいつもないから
久しぶりに麻衣と2人っきりだね…





あなたはまだ若いから仕方がないのよ
だからスッキリさせてあげる♡

ごめん…
お腹が大きくて大変な時期なのに



ハアハア…
こっちからだとよく見えるよ
麻衣のエッチな愛液が
流れてるでている穴が

待ってたんだから…
あなたのおチンポ啜えたくて
こんなに溢れだしてたんだから

ん♡

ん♡

す♡す♡

す♡す♡



それじゃ僕のチンポを啜えて
気持ち良くして麻衣さん

んっ♥…あんっ♥…大きい…
久しぶりの極太おチンポ…あんっ♥

おっ
アッ
ッ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

おっ
ッ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



今軽くイッたね麻衣？

あんツ♥…イッてないから…
挿入ただけですぐに
イッてなんてないから…
あんツ♥…あんツ♥

(イッてる…
久々の生ちゃんぽで
イッちやってる…)

んっ♡

ぬふ♡
ぬふ♡
ぬふ♡

ぬふ♡
ぬふ♡
ぬふ♡

あ♡

んっ♡

んっ♡



ハアハア…
麻衣…気持ち良いよ

私も気持ち良い…
春樹のチンポが一番気持ち良い…
あんツ♥…あんツ♥

(敏則さんごめんなさい…
あなたの事を利用してしまって…)

(ズルくて
悪い女になってしまって…)

んんん

んんん

ぬ
ぶ
ぶ
び
び

ぬ
ぶ
ぶ
び
び

んんん



あんツ♥
あんツ♥
あんツ♥

ぬふふ♥
ぬふふ♥
ぬふふ♥

ぬふふ♥
ぬふふ♥
ぬふふ♥

あが
あが

(でも前の夫が亡くなってから
一人で何でも背負っていた時と違って)

(肩の荷が下りたように
自然に振舞える)



(今は春樹と一緒に
罪を背負っているからなのか...)

んんん

んんん

(とても生きやすさを感じている)

ぬぶぶ
ぬぶぶ
ぬぶぶ

ぬぶぶ
ぬぶぶ
ぬぶぶ



あんツ♡…あんツ♡…
もつと…もつと奥まで突いて…
あんツ♡

大丈夫？
赤ちゃんに悪くないかな？

んっ♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡♡

ぬぶっ♡
ぬぶっ♡♡

あ♡



平気だから…
今は安定してて少しくらい
動いても大丈夫だから…
あんッ♥…あんッ♥

あっ…
麻衣の膣内が
引き締まって…うっ

んぐ

んぐ

ぬぶ
ぬぶ
ぬぶ

ぬぶ
ぬぶ
ぬぶ



それにすごく揺れてて
とてもスケベだよ

んんん

豊満な乳房と
大きくなったお腹のお肉が
激しく上下に揺れて…

ぬふっ
ぬふっ
ぬふっ

ぬふっ
ぬふっ
ぬふっ

あ
あ



あんツ♥…あんツ♥…でる…
そんなに強く揉まれたら
母乳が搾り出る♥…あんツ♥

ハァハァ…
麻衣の母乳がこんなに噴出して…
気持ち良いんだね？
麻衣は僕に搾られて感じてるんだ？

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

んっ♥

ぬぶ♥
ぬぶ♥
ぬぶ♥

ぬぶ♥
ぬぶ♥
ぬぶ♥



気持ち良いから…もっと搾って…
私の乳房を弄りだして…
あんッ♥…あんッ♥

おっぱいもおまんこからも
スケベな汁が溢れ出して…
うっ…このままじゃ
僕もすぐに出ちゃう…

んっ♡

あふ♡

あふ♡

あふ♡

あふ♡

ぬ♡
ぬ♡
ぬ♡

ぬ♡
ぬ♡
ぬ♡

あ♡



あんツ♥…出して…私の膣内に…
お腹の赤ちゃんに春樹の
ミルクを出してあげて…
あんツ♥…あんツ♥

あぁっイクよ…
麻衣の子宮に…
僕達の赤ちゃんにもかけてあげる

んんん

んんん

ぬぶぶ
ぬぶぶ

ぬぶぶ
ぬぶぶ



あんツ♥…あんツ♥…
イクツ…イクツから…
一緒をお願い

んっ♡

イクよ麻衣…
このまま奥にツ…
イクツイクツツ

ぬふ♡
ぬふ♡
ぬふ♡

ぬふ♡
ぬふ♡
ぬふ♡

あ♡
あ♡







搾り取られてる…
麻衣のきつきつまんこが
僕のちんぽから精子を
搾り出すように蠢いて…ハアハア

私達の赤ちゃんに注ぎ込まれてる…
パパのおチンポミルクが流れ込んで…
ハアハア

はぁッ
はぁッ

はぁッ
はぁッ

がっ
がっ
がっ



次は横になって麻衣…

はい♡…あなた♡

♡♡♡

♡♡♡



ハアハア…
頂戴…あなた♥

はぁッ

はぁッ

ハアハア…
麻衣…挿入れるよ

はぁッ

はぁッ

はぁッ

はぁッ



うんわかったよ

んっ

あなた…唇にもして…
あんっ♡…あんっ♡…

んっ

あ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



あッ

んんッ♥...
ちゅくッ♥...ちゅぱッ♥

んんッ

ちゅくッ...
ちゅぱッ...

あッ

んんッ
ちゅくッ

んんッ
ちゅくッ



(大好きな人と体をまぐわせて…
トロトロになったおまんこに
チンポを差し込んで)

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

あ

ん

(あぁっ 幸せだ…)



あっ

(2人だけの秘密を…
罪を背負って…)

んんん

おっ

んんん

んんん

あっ

(僕の為に色んな人達に
嘘をついてくれて…)



(僕は…僕の想いで
彼女を変えられたんだ)

んっ

んっ

(すごく興奮する…)

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

あ

ちゅ



あッ

(絶対手放さない...
他の男に彼女を渡さない!)

んんん

(今は仕方ないけど...)

あッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



あッ

ちゅぱッ…
楽しみにしてるから…
お腹の子もパパと一緒に
暮らしていけるのを待っているから…

んんん

絶対迎えに行くからね
将来正式に僕達が結婚できるように…
ちゅくッ…ちゅぱッ

あッ



んんちゅくっ♡...あんっ♡...
固く太くなってきたる...
んんっ♡

んっ♡

麻衣... 麻衣...
ちゅくっ... ちゅぱっ

んっ♡

あ

んんちゅくっ♡
んんちゅくっ♡
んんちゅくっ♡



んんん

嬉しくて…将来の事が楽しみで
もっと膣内で感じてほしくて
勃起がおさまらない…
ちゅくッ…ちゅぱっ

むちゅッ♥…気持ち良いの…
遅いおちんちんで
描き回されて気持ち良いの…
んちゅッ♥…ちゅぱっ♥

あッ

あッ

んんん

んんん



いいよ…何度も出して…
私の膣内をあなたの
ミルクでいっぱい満たして♥
んちゅ♥…ちゅぱっ♥…

んちゅ♥

麻衣…もう我慢できない…
さっき出したばかりなのに…
もう…ちゅぱっ

んちゅ♥

あ

んちゅ♥
んちゅ♥
んちゅ♥

んちゅ♥
んちゅ♥
んちゅ♥



一緒にイクから…
私イッちゃうから…
このまま激しく奥までッ…

麻衣…僕…イクッ…
イクから一緒にお願い…

んんん

あッ

んんんんん

んんんんん



あなた...イクッ
イクイクッッッ

んんん

麻衣...
麻衣ッ...

んんん

あす

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん







ええあなた...
これからもずっと一緒に...

はぁ
ん

麻衣...愛してる...
これからも一緒に僕と...

終わり

はぁ
ん

発行日 2024年7月6日

制作：北極ホテル

著者：北極ホテル

作品の無断転載、複製、二次使用はご遠慮ください